

Meiji Seika ファルマ株式会社

報道関係各位

2023 年 7 月 10 日

岐阜工場における「抗菌性物質製剤の安定供給にかかる計画」の 認定に関するお知らせ

Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林大吉郎、以下 Meiji Seika ファルマ）は、岐阜工場（岐阜県北方町）における抗菌性物質製剤の原薬等製造設備導入、備蓄体制整備の取り組みが、厚生労働大臣から「抗菌性物質製剤の安定供給にかかる計画（以下、「供給確保計画」）」の認定を受けましたので、お知らせします。

抗菌性物質製剤は、感染症の治療において重要な役割を果たしており、供給が途絶してしまうと国民の生存に直接的かつ重大な影響が生じます。しかしながら、抗菌性物質製剤の中でも注射剤の大半を占めるβラクタム系抗菌薬は、その原材料をほぼ 100%海外に依存している状況にあり、経済安全保障上の観点からも国内での製造及び備蓄体制を一体的に整備する必要がありますとされています。そのような状況下、βラクタム系抗菌薬 4 剤（ペニシリン系抗菌薬 2 剤並びにセフェム系抗菌薬 2 剤）は経済安全保障推進法第 7 条の規定に基づく「特定重要物資」として指定され、安定供給に向けた支援が行われようとしています。

この度「供給確保計画」の認定を受けた Meiji Seika ファルマの岐阜工場では、これまでもペニシリン系抗菌薬の原材料（母核）である 6-アミノペニシラン酸の国内生産に向けた体制構築を進めて来ましたが、今回の「供給確保計画」の認定を受け、1971 年から 1994 年までペニシリン原薬の生産を行っていた実績とノウハウを生かし、6-アミノペニシラン酸の国内生産体制構築を更に推し進め、2025 年度中の生産設備稼働を目指します。また、これに並行して大塚化学株式会社と富士フイルム富山化学株式会社との協業により 6-アミノペニシラン酸以降の工程についても国内生産体制整備を行い、2030 年までに特定重要物資であるペニシリン系抗菌薬 2 剤について、供給途絶時においても医療現場において必要な量を切れ目なく安定供給できる体制を整備します。

Meiji Seika ファルマは、医療上の重要性が高い抗菌性物質製剤の安定供給を実現し、医療現場に貢献してまいります。

【供給確保計画の概要】

(1) 認定供給確保事業者名

Meiji Seika ファルマ株式会社、富士フイルム富山化学株式会社、大塚化学株式会社

(2) 安定供給確保を図ろうとする特定重要物資

アンピシリンナトリウム・スルバクタムナトリウム

ピペラシリンナトリウム・タゾバクタムナトリウム

<取り組み内容>

原薬等製造設備導入、備蓄体制整備

以上